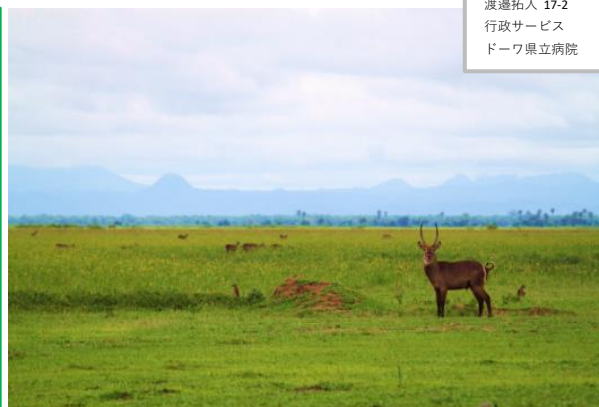


マラウイ通信



【リウォンデ国立公園】マラウイ国内にいくつか存在するナショナルパークの一つであるリウォンデ国立公園。548km²（玉東町約22個分）に及ぶ広大な敷地の中には群れを成すライオン、ヒョウ、キリン、ヌーの大群…がいません（笑）そうなんです、サファリと言えどこのようなダイナミックな動物を見たいものですが、実はこのリウォンデサファリには際立った動物（BIG5と呼ばれる）が居ないのが特徴です。一応、ライオンも生息しているらしいのですが、レアな存在で滅多にお目にかかる事ができません。このサファリ内で主に見る事ができる動物はゾウ、カバ、ワニ、インパラ、イノシシ、サル、鳥類etc… 世界に誇れるサファリでは無い事は事実かもしれませんが、それでも広大な自然の中で堂々と生きる野生の動物達はとても魅力的でつい見入ってしまいます。

出会う動物は季節の状態で異なります。特に乾季はおススメです。水の不足しがちな時期であるこの乾季には水辺に多くの動物が集まってきます。その中でも迫力満点なのがゾウの群れです。普段はテレビの中でしか見る事の出来ない野生の動物を目の当たりにすると「生命」の力強さを感じます。サファリ内で魅力的に感じるのは何も動物だけではなく、大地や空、木々や草原のスケールだけでも今まで経験したことのないものばかりでした。いま、実際に地球を取り巻く自然環境問題が今後どのように影響するかは分かりませんが、いつまでもあり続けて欲しいと願います。



渡邊拓人 17-2
行政サービス
ドーワ県立病院

【マラソン大会】半信半疑と不安の中、マラウイの首都リロングウェで行われたハーフマラソン大会に参加してきました。南アフリカに本社を構える大手銀行による開催だったのですが、当日受付可能な点や給水、記録、様々な不安要素満載でしたので、スタート地点に着くまでは実際に開催されるかさえ疑ってました。一抹の不安を残したままスタートを迎えいくつかの驚きに遭遇しました。まずは道路規制が無い事です。交通量の多い首都の主要道を縫うように走っていきます。次に驚いたのが、コース内で配布される給食がサトウキビだった事です。それには、さすがに手を出す余裕がありませんでした。ちなみに男子の優勝タイムは1時間8分51秒という素晴らしい結果となりました。

【SET】日本語では整頓です。マラウイの病院では十分な予算が無いことで医療器具を整頓する為のトレーなどを買え揃える事ができません。その為、スタッフに対して整頓する為のアイデアを提供したり、実際に作ってみたりして、より仕事がしやすい現場へと改善していきます。大事な事は自主的に取り組んでもらう事です。まずは簡単な事から取り組み徐々にレベルを上げていく。少しの変化でも効率向上を実感して欲しいです。



例えば、乱雑に置かれているだけの注射器を各大きさに分けて収納します。



薬の空き容器を使用。

【後記】日本人の多くはシャイな人が多く自分もその中に分類される人も多く見ません。そんな自分をマラウイ人から見ると、ただテンションの低い人、もしくは機嫌が悪い人と思われても仕方ないと思えます。最近ではそんな日本人ならではのマイナスイメージを克服してきたように感じます。無理せず同僚とハイテンションで朝から挨拶が出来るようになります。活動や生活に本当に大きくなります。円滑に生きていくには、そんな些細な事でも、大きな変化になります。

